

fMRI実験を行う予定の実験グループが  
疫学研究等倫理審査委員会への  
審査申請A,Bのどちらになるかを  
決定するためのフローチャート

東京工業大学大学院社会理工学研究科

fMRIワーキンググループ主査

肥田野 登

# 疫学研究等倫理審査委員会に提出する前段階

大学院社会理工学研究科のホームページ  
<http://www.dst.titech.ac.jp/outline/facility/fMRI/fmri-j.html>に公開されているfMRI関係の書類(取り扱い要項  
<http://www.dst.titech.ac.jp/outline/facility/fMRI/doc/fMRIunyoyoukou.pdf>は必読)を読んでいますか

いいえ

お読みください

はい

WG-主査、統括オペレーター開催のfMRI利用講習会を受講し、試験に合格していますか

いいえ

受講・合格してください

はい

研究計画の新規申請、変更申請に関し、fMRI実験申請書をWG-主査に提出し統括オペレーターの承認を得ていますか

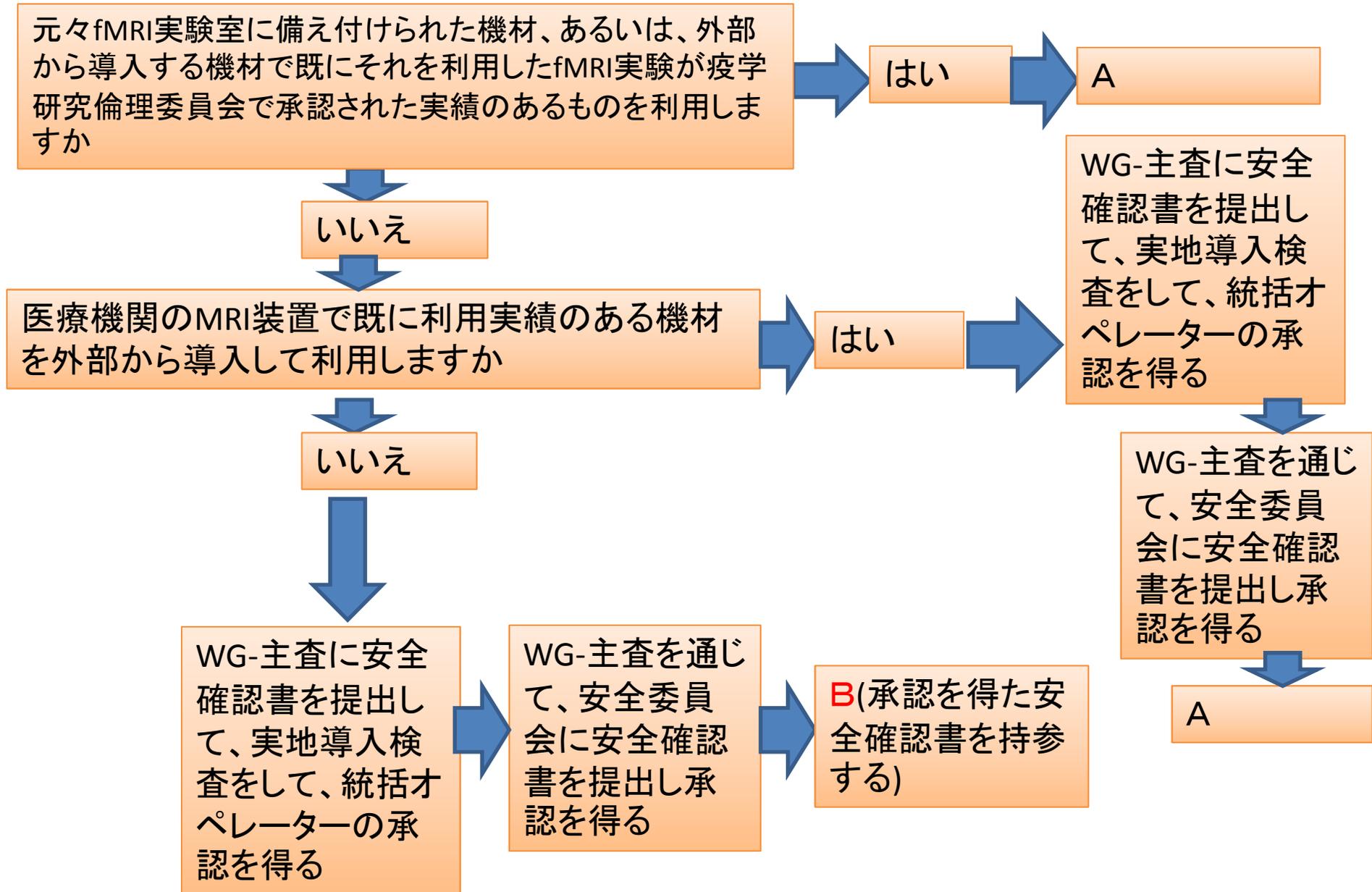
いいえ

提出し承認を得てください

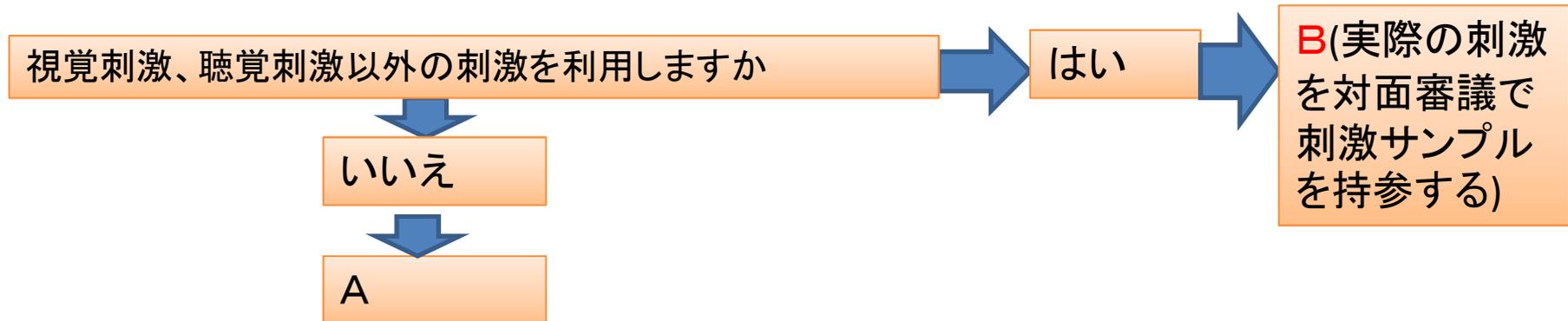
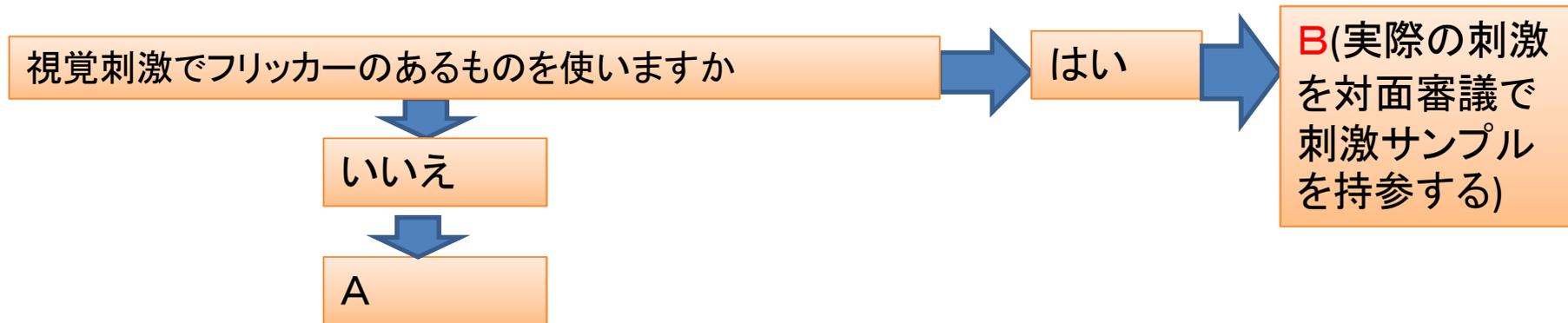
はい

Q1-Q4のそれぞれのフローチャートを別々に進み、すべてAに達した場合はA審査(書面審議)、ひとつでもBに達した場合はB審査(対面審議)となります。

# Q1. 機材



# Q2. 刺激



# Q3. 実験時間について

1実験で、年間を通し、1人の実験参加者が12日を越えたfMRIセッションに参加することがありますか

はい

B

いいえ

A

高磁場被曝に関し最も厳しい条件を考慮の上対面審議の対象とします

1セッションで、ベッドのホームポジションからボアの中心に実験参加者が移動し、ベッドがホームポジションに戻るまで、ハンドリングに要する時間を除き、高磁場の中心に留まる時間が1時間を越える場合がありますか

はい

B

いいえ

A

実験参加者の疲労を考慮しますが、コイルの熱でスキャナーは自動停止するようプログラムされているので、実際は物理的にもほぼ限度時間になります。

# Q4.外部研究者

